

## 日本気象学会昭和41年度春季総会提出議題

佐藤順一会員を名誉会員に推せんする件

「提案理由」

佐藤順一会員は多年にわたり気象学の調査研究に精励される一方、気象集誌の編集や学会の事務に従事され、とくに戦中戦後の困難な時代に専心気象学会の維持発展に努められた。今日学会発展の基礎は、佐藤会員の努力に負う所が大きく、その功績を高く評価し、定款第6条4項の規定を適用して、名誉会員に推せんしたい。

### 第11回太平洋学術会議の登録について

第11回太平洋学術会議は来る8月22日(月)から約3週間にわたり、太平洋学術協会の主催で、主として東京大学を会場として開催される。気象部門でも下記のような多くの重要なテーマについて Symposium や部会(Divisional meeting)が行なわれるので、会員の積極的な参加を希望する。なお、会議に参加するには、論文発表者はもちろん傍聴を希望する者も所定の用紙(第11回太平洋学術会議 Information Card)によりあらかじめ登録を済ませておく必要がある。会場の広さから参加者数に制限があるので、できるだけ早く登録を済ませるよう希望する。

太平洋学術会議の内容は、すでに本誌12巻12号438頁に紹介されているが、より詳しく知りたい会員および上記の登録用紙を必要とする会員は下記へ申込むこと。

東京都千代田区大手町 気象庁観測部産業気象課 土井謙二 電話東京212-8341 内線 386

記

1. 会 期：8月22日(月)より3週間
2. 会 場：第1～第2週 東京大学  
第3週 日本各地
3. 行 事(抜萃)：下記の通り

期 日	午 前	午 後
8月22日(月)	開会式	
8月23日(火)～26日(金)	シンポジウム*	コンgresシンポジウム**
8月27日(土)	シンポジウム*	見学旅行等
8月28日(日)	見学旅行	見学旅行
8月29日(月)～9月2日(金)	部 会***	研究所見学等
9月3日(土)	総 会	
9月4日(日)～	スペシャル・シンポジウム, コンgresツアー	

(注) \* 気象部門のシンポジウム (convener)

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| 1. 大平洋地域の気象大循環     | (正野重方 東大)  |
| 2. 大平洋地域における雲の物理学  | (磯野謙治 名大)  |
| 3. 大平洋地域における雪と氷の問題 | (吉田順五 北大)  |
| 4. 気象衛星の利用         | (山本義一 東北大) |
| 5. 上層大気の物理学        | (北岡竜海 気象庁) |
| 6. 農業気象            | (井上栄一 農技研) |
| 7. 熱帯性低気圧          | (荒川秀俊 気研)  |

\*\* コンgresシンポジウム

1. 太平洋諸地域での人口増加と栄養問題
2. 太平洋地域の空気と水の公害問題

\*\*\* 気象関係部会

1. モンスーン気象 (畠山久尚)
2. 他の気象関係論文 (畠山久尚)

なお、太平洋学術会議と他の国際機関が合流して行なう Concurrent Meeting は 気象部門では次の二つが予定されている。

1. WMO: Panel Meeting of Experts on Tropical Meteorology (気象庁)
2. 国際雪氷会議: International Conference on Physics of Snow and Ice.

(8月15～19日 北大低温研)